教　科　名	科学技術英語（Scientific and Technical English）		学修
学年・学科名	第４学年 電気電子工学科	【担当教員氏名】高田　明雄 【教員室】３階　内線 6428	
単位数・期間	1 単位　通年　　週 1 hr　必修	総時間数	45 時間　（中間試験･自学自習 20hr を含む実時間）
教科書など	適宜プリントを配布する。		
補助教材 参考書など	A.R.Hambley 著「Electrical Engineering: Principles and applications,2nd ed.」 (Prentice Hall)		

学習到達目標：　電気電子工学という専門分野に使われる専門用語ならびに特有の表現方法を学び、**専門分野の工業技術**(B-3)に関する英文が読解でき、**国際的なコミュニケーションを行うための英語力**の基礎を身につける(E-4)。

「函館高専教育目標」および「複合型システム工学」プログラムの学習・教育目標との関連：
(B)　専門技術に関する基礎知識を持った技術者
　(B-3)主となる専門分野の基礎知識、およびそれらと複合するための他の専門分野の基礎知識を持っている
(E)多面的なコミュニケーション能力を持った技術者
　(E-4)　国際的なコミュニケーションを行うための基礎的な英語理解力および表現力を持っている。

学習上の留意点：
①実際の会話でも役立つように、音読（発音）も積極的に行う。発音のミス・誤解を気にする必要はない。
②文章の区切り（主部や述部など）を見つけるように心がける。
③専門的な知識は技術英語の理解を助け、ひいては一般の英文の理解を助ける。
④英和辞書（電子辞書可）を毎回準備する。

評価方法：読解力評価を中心にする。中間試験(B-3)（E-4）(50%)，期末試験(B-3)（E-4）(50%)により評価する。英和辞書（電子辞書可）不携帯の場合には、1 回につき、定期試験成績から 1 点減点とする。

必要とされる予備知識：基本的な英語の文法、電気電子工学の基礎知識

関連する科目：各専門科目、各英語科目

授　業　内　容

授　業　項　目	時間	各項目到達目標
授業内容のガイダンス 英語を学ぶための注意点 専門用語と文の構造を理解する 電気電子工学に関する技術英語	1 1 2 1 2	授業内容、および授業に役立つ心構えを知る。 多くの日本人が英語を正しく使えない理由､および基本的なコミュニケーションの要点を知る。 文の基本構造を理解できる。 科学技術英語特有の表現が存在することを理解する。 代表的な専門用語の訳し方を説明できる。 文の構造を理解できる｡初歩的な専門技術英語を日本語訳できる。
★前　期　中　間　試　験	1	
試験答案返却・解答解説	1	試験問題を通じて間違った箇所を理解できる
専門技術に関連した洋書を読む 1）電気電子工学の基礎 2）電気回路 などに関する英語	6	専門用語の意味、および技術文特有の表現を理解できる。 文の構造を理解でき、適正な和訳ができる。 与えられた英文の用法を応用にして基礎的な英作文ができる。
★前　期　期　末　試　験		
試験答案返却・解答解説		試験問題を通じて間違った箇所を理解できる
3）論理回路、マイクロコンピュータ 4）電子工学、電子回路 5）電磁気学、電気機器 などに関する英語	7	専門用語の意味、および技術文特有の表現を理解できる。 文の構造を理解でき、適正な和訳ができる。 与えられた英文の用法を応用にして基礎的な英作文ができる
★後　期　中　間　試　験	1	
試験答案返却・解答解説	1	試験問題を通じて間違った箇所を理解できる
実用的な技術英文を読む 1)　仕様書（データシート） 2)　取扱説明書（マニュアル） 3)　Web サイト情報	6	専門用語の意味、および技術文特有の表現を理解できる。 文の構造を理解でき、適正な和訳ができる。 与えられた英文の用法を応用にして基礎的な英作文ができる
★　学　年　末　試　験		
試験答案返却・解答解説		試験問題を通じて間違った箇所を理解できる
履修時数計	30(25)	※時間数は単位時間，（　）内に実時間を示す.
自学自習 ・予習・復習 ・定期試験の準備 計	 (10) (10) (20)	自学自習時間として，理解を深めるために日常行う予習復習時間，課題によるレポート作成時間，および定期試験準備のための学習時間を 20 時間以上確保する.